



伝統を次代につなぐ  
若き伝道師

漆師・箔押し師  
なかがわ よしひろ  
中川 喜裕さん(曾根町)

江戸期から続く仏壇づくりの老舗に生まれ、小さな頃から家業を意識していたという中川さん。小学生時代に将来の夢として書いたのは「野球選手」。しかし、その文字の下には消された「仏壇屋」という言葉が。「それを見つけた母親に尋ねられた時、『友達に恥ずかしかった』と答えてしまったんです」。そんなある日、先立つた夫の法事のためにと依頼があった仏壇の修復の納品で、父親に同行した時のこと。仕上がりを見た依頼主が、涙を流して父親に感謝の気持ちを伝える姿を目の当たりにし、家業に対する誇りが芽生えます。「あの日がなければ、今の自分はなかった」。

家業を継ぐ決意を自ら固め、大学卒業後、仏壇仏具の卸売りや修復を手掛ける会社などで4年間修業したあと、父親を師として漆師・箔押し師の道に進みます。しかし業界が直面するのは、生活様式の変化による需要の激減と、職人の高齢化という実態。「暮らしたの中から漆がなくなっていく。衰退させてはいけない」と、漆文化の伝承に強い使命感を抱きます。研鑽の日々を送る傍ら、後継者育成に熱心な先輩の職人の誘いで、長浜曳山祭の山の修復にも挑戦。古い漆の色合いに塗り上げる「古色仕上げ」など高い技術にも触れ、貴重な体験を通じて漆の奥深さに魅了されていきます。

「手に取ってもらおう機会さえ作れば絶対に心を掴める」と着目したのが、趣味とするアウトドアの用品。水や熱に強く抗菌性があるといった機能面だけでなく、自然由来で使うほどに味が生まれる漆の美しさは人を惹きつけると確信します。昨秋、SNSに「何でも無料で漆を塗ります」と投稿したところ、数か月後には日に90件もの依頼が寄せられる大反響。漆を通じて集まった仲間と伝統文化を広めたいという願いを込め、塗師の読みと仲間と群れを作る動物ヌーを合わせた「GNU」という名のブランドを今年4月に立ち上げました。

漆塗りの工程をSNSで発信し変化を見せていくのは、一人でも多くの人に興味を持ってほしいという想いから。「手にした人がSNS等で喜びの声を発信してくれたり、漆のよさを次の人に伝えてくれたりするのが何より嬉しい。伝えたくなるのはそこに感動があるから」。その言葉は丁寧な仕事ぶりに生きています。仏壇職人としての誇りを見せてくれた父親の背中を見ながら、若き伝道師は修業を続けます。



田根小学校

5人の先哲に学ぶ 五先賢学習

田根小学校は、校歌の中で「田園田根」と歌われているように、のどかでおおらかな自然に恵まれた環境にあります。学区からは多くの先哲が世に生まれ、特に「五先賢」といわれる相応和尚、海北友松、片桐且元、小堀遠州、小野湖山の5人は地域の誇りでもあります。

本校でも「五先賢学習」と題して、5人の先哲にまつわる伝統的な学習が続いています。具体的には、1年生は五先賢にまつわるカレンダーづくり、2年生は小野湖山にならって習字の体験、3年生は海北友松にならって墨絵に挑戦します。4年生は相応和尚の座禅体験、5年生は遠州流の茶道体験、6年生は片桐且元の歴史探訪を行います。毎年学年ごとに体験活動を積み重ね、5人の先哲の偉業についてより深く理解します。

ほかに、地域づくり協議会や学校運営協議会をはじめとする、地域のたくさんの方から支援と協力をいただきながら、米作りやひよ



▲相応和尚にならって座禅体験

うたんの栽培、木工工作や森の授業、コウノトリのエサやりなどのふるさと学習に取り組み、体験とともに地域のよさを学びます。

「五賢の血潮うけつぐわれら」と校歌にあるように、これらの学習を通じて、子どもたちには、郷土に誇りを持ち、地域を愛し、地域に貢献できる人に育ってほしいと願っています。

- 長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～
- 元気にあいさつをします
  - 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
  - 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
  - 困っている人がいたら言葉をかけます
  - 人の話をしっかり聞きます

- 長浜子育て憲章～おとなが実践します～
- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
  - 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
  - ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
  - 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
  - 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます

学校・教育関係の情報が満載  
▲市教育委員会フェイスブック

人口と世帯数  
令和3年6月1日現在

|     |                |
|-----|----------------|
| 人口  | 116,245人(-102) |
| 男   | 56,983人(-44)   |
| 女   | 59,262人(-58)   |
| 世帯数 | 46,778世帯(+15)  |

( )は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

|               |                        |                      |                       |                    |                  |                    |
|---------------|------------------------|----------------------|-----------------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 長浜市<br>ホームページ | Facebook<br>長浜市ほっとにゆ〜す | Facebook<br>長浜市教育委員会 | Instagram<br>＃長浜ちよびつく | YouTube<br>はま〜るtb. | 広報紙をスマホで<br>マチイロ | 災害・防災情報を配信<br>LINE |
|               |                        |                      |                       |                    |                  |                    |

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は政策デザイン課まで。

